



## 令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年8月6日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東  
 コード番号 7521 URL <https://www.musashinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 山本 義明 TEL 03-3546-7710  
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	9,409	8.0	468	—	473	—	315	—
31年3月期第1四半期	8,710	21.4	△5	—	26	△28.7	△23	—

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 236百万円 (—%) 31年3月期第1四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	42.34	—
31年3月期第1四半期	△3.18	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	44,290	27,300	61.6
31年3月期	44,211	27,153	61.4

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 27,300百万円 31年3月期 27,153百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,692	11.8	875	—	892	—	559	—	75.10
通期	38,300	3.1	1,124	266.4	1,161	199.9	721	292.8	96.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	7,950,000株	31年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	506,609株	31年3月期	506,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	7,443,415株	31年3月期1Q	7,443,463株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の深刻化や中国経済の減速、中東での地政学的リスクの高まりなど海外経済での懸念材料があり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

#### (情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売が好調だったほか、工業用検査機材や業務用ろ過フィルター(マイクロフィルター)の販売も順調に推移しました。また、文書のデジタル化事業については民間企業、官公庁からの受注とも概ね順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は概ね順調でしたが、機器の販売に商談遅延の影響がありました。

#### (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、金融機関向け貨幣処理機器の販売が設備投資抑制の影響により低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、4月の統一地方選挙及び7月の参議院選挙向けに、投票用紙読取分類機や計数機などの主力機器や投票管理システムの販売が順調に推移したほか、投票用紙交付機の新製品投入効果もあり、全般的に好調に推移いたしました。

#### (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受けました。また、子会社エム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売は概ね順調に推移いたしました。

#### (不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高94億9百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益4億68百万円(前年同期は営業損失5百万円)、経常利益4億73百万円(前年同期は経常利益26百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億15百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は338億77百万円となり、前連結会計年度末より4億1百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(14億50百万円)、増加の主な要因は、現金及び預金の増加(9億53百万円)であります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は104億12百万円となり、前連結会計年度末より4億80百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、有形固定資産(主に建物及び土地)の増加(4億67百万円)であります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は145億58百万円となり、前連結会計年度末より42百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(1億25百万円)、電子記録債務の減少(39百万円)及び賞与引当金の減少(1億59百万円)、増加の主な要因は、流動負債の「その他」の増加(3億6百万円)であります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は24億32百万円となり、前連結会計年度末より25百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少(52百万円)、増加の主な要因は、固定負債の「その他」の増加(38百万円)であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は273億円となり、前連結会計年度末より1億47百万円増加いたしました。

増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億15百万円。減少の要因は、剰余金の配当89百万円及びその他の包括利益累計額の減少(78百万円)であります。

この結果、自己資本比率は61.6%(前連結会計年度末は61.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月17日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,747	19,701
受取手形及び売掛金	11,754	10,303
商品及び製品	2,739	2,953
仕掛品	78	68
原材料及び貯蔵品	470	556
その他	495	301
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	34,279	33,877
固定資産		
有形固定資産	3,216	3,684
無形固定資産	408	496
投資その他の資産	6,307	6,232
固定資産合計	9,931	10,412
資産合計	44,211	44,290
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,122	5,997
電子記録債務	3,698	3,659
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	68	43
賞与引当金	425	265
その他	769	1,076
流動負債合計	14,600	14,558
固定負債		
退職給付に係る負債	214	203
役員退職慰労引当金	1,386	1,334
その他	855	894
固定負債合計	2,457	2,432
負債合計	17,058	16,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	24,190	24,416
自己株式	△576	△577
株主資本合計	26,827	27,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	145
退職給付に係る調整累計額	110	101
その他の包括利益累計額合計	325	247
純資産合計	27,153	27,300
負債純資産合計	44,211	44,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	8,710	9,409
売上原価	6,860	7,082
売上総利益	1,849	2,327
販売費及び一般管理費	1,855	1,858
営業利益又は営業損失(△)	△5	468
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	21
持分法による投資利益	2	—
その他	10	10
営業外収益合計	39	32
営業外費用		
支払利息	7	7
貸倒引当金繰入額	—	7
持分法による投資損失	—	0
退職給付費用	—	11
その他	0	0
営業外費用合計	7	27
経常利益	26	473
税金等調整前四半期純利益	26	473
法人税、住民税及び事業税	21	100
法人税等調整額	29	57
法人税等合計	50	158
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	315
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	315

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△68
退職給付に係る調整額	4	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△35	△78
四半期包括利益	△59	236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59	236



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,798	1,446	2,407	57	8,710	—	8,710
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	66	66	△66	—
計	4,798	1,446	2,407	124	8,777	△66	8,710
セグメント利益又は損 失 (△)	△113	90	△20	37	△5	0	△5

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成31年4月1日 至令和元年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,615	2,295	2,435	63	9,409	—	9,409
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	29	—	70	100	△100	—
計	4,616	2,324	2,435	133	9,509	△100	9,409
セグメント利益又は損 失 (△)	△71	523	△18	35	467	0	468

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。